

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
豊かな心の育成						
16 義務教育課	【規範意識の状況】 ・「全国学力・学習状況調査」における「学校の きまりを守っている」の設問に「当てはまる」 「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童 生徒の割合	小 88.8 %	90 %	小 91.9 %	258.3	規範意識の更なる向上に向け、次のことを継続して実施する。 ・生徒指導の担当者会議や道徳の時間の充実に向けた研修会で議題として取り上げ、教 員の指導力の向上に努める。 ・「やまなし」道徳教育推進運動の一環として、規範意識を高めるための取組を学校の 実態に応じて実施するよう依頼する。 ・「しなやかな心の育成アクションプラン」の実践例として示し、規範意識を高めるた めの取組を推進する。 ・道徳や学級活動、体験活動や地域と連携した取組を通して、問題行動の起こらない魅 力ある学校・学級づくりを推進する。
17		中 87.1 %		中 93.6 %	224.1	
18 義務教育課	【道徳教育の推進状況】 ・道徳の授業を地域住民や保護者に公開している 学校の割合	小 34.8 %	70 %	小 94.5 %	169.6	道徳の授業公開を行うことは、家庭・地域の道徳教育への理解や協力につながるた め、更なる授業公開率の向上に向け、次の2つの取組を引き続き行う。 ・「やまなし」道徳教育推進運動の一環として道徳の授業公開を全小・中学校へ依頼す る。 ・魅力ある道徳の授業づくり研修会など、道徳担当者に対して、家庭・地域の理解や協 力を得た道徳教育の意義等について説明する。
19		中 27.1 %		中 86.2 %	137.8	
20 高校教育課	【高校芸術文化祭への参加状況】 ・文化部の活動を充実させるために行われている 高校芸術文化祭への参加者数	18,416 人	20,000 人	22,097 人	232.4	今後も高文連専門部との協力の下、啓発・広報活動に引き続き力を入れていく。 マスコミ等への取材依頼や情報提供を通じ、より多くの方に各校の取り組みを知って もらえるよう支援していく。 また、生徒数の減少に伴い部活動が縮小傾向にあることについて、高文連・高体連 (高等学校体育連盟)と課題を共有し、協力して取組を検討していく。
21 義務教育課	【不登校の状況】 ・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に 関する調査」における公立学校の「不登校児童生 徒」の人数	小 188 人	小 160 人	小 131 人	203.6	中1ギャップの軽減のために、小学校から中学校への情報の伝達の徹底を図る。ま た、様々な行動連携(職員間、児童生徒間・小中連携)を図るとともに、スクールカウ ンセラーの配置を小中学校が連携しやすいような配置に見直していく。 スクールカウンセラーによる人間関係づくり等についての相談対応力が充実するよ う、スクールカウンセラー研修会において指導していく。 管理職研修会や生徒指導担当者会において、学力不振が不登校の大きな原因であるこ とを説明し、個に応じた魅力ある授業づくりの大切さを周知するとともに、一校一実 践、一人一実践を中心とした学力向上の取組を充実するよう指導する。
22		中 995 人	中 700 人	中 717 人	94.2	
23 高校教育課		高 299 人	高 280 人	高 185 人	600.0	

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
24 義務教育課	【暴力行為の状況】	小 6 件	小 3 件	小 38 件	-1066.7	暴力行為を予防する観点から、人間関係づくりや規範意識の育成等を図る手立てについて児童生徒を指導していくとともに、スクールカウンセラーを活用して人間関係づくり等の悩みを抱える子供やその保護者にカウンセリングを行う。
25		中 135 件	中 90 件	中 195 件	-133.3	問題行動の背景にある子供を取り巻く家庭・学校・社会環境などの様々な要因を改善するために、スクールソーシャルワーカーを活用した支援体制を推進していく。
26 高校教育課	・「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」における公立学校の「暴力行為」の件数 【読書への取組状況】	高 72 件	高 50 件	高 26 件	209.1	校長研究協議会等の研究協議会の機会を利用して、諸問題に関する調査等の結果をもとに、暴力行為防止に対する取組について引き続き協議していくとともに、他校の効果的な取り組み等を紹介することにより、より一層の取り組みの強化を図っていく。 「新やまなしの教育振興プラン」や「山梨県学校教育指導重点」に沿ったきめ細かな生徒指導体制のさらなる整備と充実を図るよう、あらゆる機会を通じて各学校に対して指導していく。 暴力行為の発件数は、減少しているが、子供を取り巻く環境について、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用も含めて、さらに細かな配慮を行っていきよう、あらゆる機会を通じて各学校に対して指導していく。 暴力行為の背景に、いじめの問題がある場合もあるので慎重な対応を進めていきよう、引き続き各学校に対して指導していく。 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの有効活用による教育相談体制のさらなる整備・拡充を引き続き継続していく。
27 義務教育課	・「全国学力・学習状況調査」における「家や図書館で、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」の設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合	小 15.4 %	小 10 %	小 16.5 %	-20.4	家庭等での読書を習慣化させるために、教育課程研究協議会や指導主事の学校訪問などにおいて、「家読」の取組を推進するよう学校に対して指導するとともに、「学力向上の集い」のリーフレットで、「家読」の取組を取り上げ、児童生徒の学校外での読書習慣を支援していく。
28		中 32.5 %	中 20 %	中 28.6 %	31.2	山梨県PTA協議会や山梨県私立中学高等学校PTA連合会とともに連携し、各校のPTA総会等での広報を通じて家庭に対して直接的な周知に取り組んで行く。